



2021年4月5日

各位

会社名 株式会社 中広  
 代表者名 代表取締役社長 中島 永次  
 (コード番号 2139: 東証第一部・名証第一部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 倉橋 誠一郎  
 (TEL 058-247-2511)  
 (URL <https://www.chuco.co.jp/>)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

「2021年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

## 記

## 業績予想の修正

2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回発表予想 (B)	6,551	△291	△274	未定	未定
差異額 (B-A)	—	—	—	—	
差異率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	—	—	—	—	—

(注) 当社は2021年3月期より連結決算に移行しているため、前期実績はありません。

## 修正の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響とその収束のタイミングが不明であり、適正かつ合理的に通期業績を見通すことが困難な状況が期初から続いたことから未定としておりました。

当期業績につきましては、期初から続く新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大によって上半期において大幅な営業赤字となる中、従業員の安全と雇用の維持を図りつつ、原価や経費の見直し及び削減に努めました。また、当期経営方針である“付加価値の創造”に沿って、コロナ対策にかかる企業及び地方自治体などの広告ニーズの掘り起こしに加え、地域課題に応える新たなハッピーメディア®の拡充や、DX化など経営ソリューションの提案を積極展開いたしました。その結果、第3四半期と比べ利益額は減少したものの、第4四半期においても営業利益が見込めることとなりました。しかしながら、上半期における営業損失を取り戻すに及ばず、結果として通期においても営業損失、経常損失となる見通しです。この度、見通しが困難であった期末における売上高について実績見込みが確認できましたので、売上高、営業利益、経常利益について修正いたします。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第3四半期短信等で開示の通り、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積もりについて精査中のため未定としております。

※上記の予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により変動する可能性があります。

以上